

1 年学年だより

『努力・優しさ・素直な心』

・授業、ルールを大切に

・自分を大切に・仲間を大切に

門真市立第二中学校 1 学年通信 第 14 号 ボッチャ体験号 2024 年 2 月 9 日金曜日

ボッチャ体験

2 月 8 日 (木) に門真市社会福祉協会の方たちの協力の元、ボッチャ体験を行いました。

どのクラスもチームで協力し、楽しみながら取り組む姿がとても素晴らしかったです。「ナイス～!」「うまい!」「すごいやん」など言われてうれしい言葉が飛び交い、「ごめん、ミスった」「いいよ、いいよ」「めっちゃ惜しい」と仲間を思いやる発言がたくさん聞こえてきました。

ボッチャは、「障がいがあってもきっとできることがある!何か参加できるスポーツを考えよう!」

と、人々が考え工夫してできたスポーツです。ボッチャを通して、何事にもみんなが一緒に

楽しめるのかを考える思いやりのある人になってほしいです。

体験の中でも出てきた「心のバリアフリー」、「心のユニバーサルデザイン」を大切に、

残り少ない一年生という期間を、みんなが安心して楽しく過ごせるようにしていきましょう。

社会福祉協会の方たちからは、「みんな理解が速くて色々な工夫をしたり、作戦を立てていて

すごいですね。こんなにも楽しんでやってくれたので、一緒にできてとても楽しかったです。」と言

ってくださいました。はじめてでも興味をもって積極的に取り組める皆さんはとても素敵ですね!

～みんなの感想～

・障がいがあるからできないじゃなくて、どうやったらできるかを工夫して考えることが大切だと思いました。

・最初は出来ない人もいるんじゃないとか、おもしろくないんじゃないかと思っていたけど、簡単すぎず、難しすぎずで本当に心から楽しめたし、誰でも出来るかもしれないと思った。ボッチャという競技は、誰かの優しさで出来ていてそこにも感動した。

・相手のことを考えるということが必要かなと思いました。

・ボッチャをする前は、障がいのある人は、「誰かがついていないと何もできない。」と思っていました。ですが、ボッチャを体験してみてそういう思いはなくなりました。

・誰でも楽しむことができるのはとてもいいことだと思いました。

・体に不自由がある人たちのために誰でもできるスポーツを作るのが素敵だなと思った。

・みんなで出来ることが増えていったら良いと思います。

・ボッチャの楽しさを身近な人に伝えたり、障がいのある人や高齢者のみなさんに優しく接することができるよう頑張ろうと思いました。



授業参観ありがとうございました

お忙しい中、授業参観にご参加いただきありがとうございました。日頃の子どもたちの頑張りを保護者の皆様に見て頂くことができたへん嬉しく思います。今後もお子様の成長を全力でサポートさせていただきますので、引き続きご協力よろしくお願い申し上げます。